

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公開番号】特開2010-276296(P2010-276296A)

【公開日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-049

【出願番号】特願2009-130316(P2009-130316)

【国際特許分類】

F 2 4 F 6/04 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 6/04

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月23日(2012.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

気化部は、水を蒸発させて水蒸気を発生させる。送風部は、第 1 の送風部と第 2 の送風部とから構成されている。第 1 の流路は、気化部が配置され、気化部において発生された水蒸気を含む空気を流通させる。イオン発生部は、イオンを発生させる。第 2 の流路は、イオン発生部において発生させられたイオンを含む空気を流通させる。制御部は、送風部を制御する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

第 1 の流路には、水を蒸発させて水蒸気を発生させる気化部が配置されている。第 2 の流路には、上記のイオンを発生させるイオン発生部が配置されている。第 1 の送風部が第 1 の流路に風を送り込み、第 2 の送風部が第 2 の流路に風を送り込む。制御部が、第 1 の送風部が第 1 の流路に流通させる風量と、第 2 の送風部が第 2 の流路に流通させる風量とをそれぞれ調整するように送風部を制御することによって、気化部を通過する風量と、イオン発生部を通過する風量とを、それぞれ異なるように制御することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

このように、気化部を通過する風量と、イオン発生部を通過する風量とを別々に制御することによって、気化部によって発生された水蒸気が第 1 の流路を通過する風に含まれる量と、イオン発生部で発生されたイオンが第 2 の流路を通過する風に含まれる量とを、別々に制御することが可能になる。このようにすることにより、加湿対象室内の湿度と、加湿対象室内に供給するイオンの量を、それぞれ調整することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、1つの制御部で、加湿対象室内の湿度と、加湿対象室内に供給するイオンの量をそれぞれ調整することができるので、従来の加湿装置とイオン発生装置とを別個に備える場合と比較して、省スペースになる。さらにまた、制御部は、加湿対象室内の湿度が低いときにはイオンをより多く加湿対象室内に供給するように第2の送風部を制御し、一方、加湿対象室内の湿度が高いときには、加湿対象室内に供給されるイオンを比較的少なくするように第2の送風部を制御することができる。このようにすることにより、加湿装置全体の騒音を小さくすることができる。また、省エネルギーになる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

また、制御部が第2のモータを制御することによって、第2の流路に流通させる風量を調整することができる。第2の流路にはイオン発生部が配置されているので、第2の流路に流通させる風量を調整することによって、加湿対象室内に放出するイオンの量を調整することができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水を蒸発させて水蒸気を発生させる気化部と、
第1の送風部と第2の送風部とから構成される送風部と、
前記気化部が配置され、前記気化部において発生された水蒸気を含む空気を流通させる第1の流路と、
イオンを発生させるイオン発生部と、
前記イオン発生部において発生させられたイオンを含む空気を流通させる第2の流路と

、
前記送風部を制御する制御部とを備え、
前記第1の送風部は前記第1の流路に風を送り込み、
前記第2の送風部は前記第2の流路に風を送り込み、
前記制御部は、前記第1の送風部が前記第1の流路に流通させる風量と、前記第2の送風部が前記第2の流路に流通させる風量とをそれぞれ調整するように前記送風部を制御する、加湿装置。

【請求項2】

前記第1の送風部は、第1のファンと、前記第1のファンを駆動させるための第1のモータとを含み、
前記第2の送風部は、第2のファンと、前記第2のファンを駆動させるための第2のモータとを含み、

前記制御部は、前記第1のモータと前記第2のモータとを制御することによって、前記第1の送風部が前記第1の流路に流通させる風量と、前記第2の送風部が前記第2の流路に流通させる風量とをそれぞれ調整する、請求項1に記載の加湿装置。

【請求項 3】

前記第 1 の流路は、前記気化部が配置される加湿流路部と、前記気化部が配置されない非加湿流路部とを含み、

前記第 1 の送風部によって前記加湿流路部に流通される風量と前記非加湿流路部に流通される風量とを調整する風量調整部を備え、

前記制御部は、前記第 1 のモータと前記第 2 のモータと前記風量調整部とを制御することによって、前記第 1 の送風部が前記加湿流路部に流通させる風量と、前記第 1 の送風部が前記非加湿流路部に流通させる風量と、前記第 2 の送風部が前記第 2 の流路に流通させる風量とをそれぞれ調整する、請求項 2 に記載の加湿装置。

【請求項 4】

前記第 1 の送風部は第 1 のファンを含み、

前記第 2 の送風部は第 2 のファンを含み、

前記送風部は、前記第 1 のファンと前記第 2 のファンとの両方を駆動するための共通モータを含み、

前記第 1 の流路は、前記気化部が配置される加湿流路部と、前記気化部が配置されない非加湿流路部とを含み、

前記第 1 の送風部によって前記加湿流路部に送風される風量と前記非加湿流路部に送風される風量とを調整する風量調整部を備え、

前記制御部は、前記共通モータと前記風量調整部とを制御することによって、前記第 1 の送風部が前記加湿流路部に流通させる風量と、前記第 1 の送風部が前記非加湿流路部に流通させる風量と、前記第 2 の送風部が前記第 2 の流路に流通させる風量とをそれぞれ調整する、請求項 1 に記載の加湿装置。